

# The Y's men's Club of *Kyoto Prince*

THE SERVICE CLUB TO THE YMCA AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y's MEN'S CLUB

SANJOU YANAGINO BANBA KADO NAKAGYOU-KU KYOTO JAPAN, GIP 604-8083  
URL <http://www.prince-ys.com>

TEL 075-231-4388

強調月間  
EF/JWF

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANES EVERY RIGHT"



Bulletin  
2009. 3

2009年 3月1日号発刊  
第28巻 9号  
通巻279号

会長主題 (CP)

廣井武司

主題

「友情の輪を拡げよう」

スローガン

和・話・輪

WA WA WA

聖句

「わたしのこれらの言葉を聞くだけで行わない者は皆、砂の上に家を建てた愚かな人に似ている。」  
マタイによる福音書 7章26節

国際会長 (IP)

V. S. Bashir (India)

主題

“Be the Light of Hope” 「希望の灯となろう」

スローガン

“Share with a smile” 「分かち合いは微笑をもって」

アジア会長 (AP)

Rita. Hettiarachchi (Sri Lanka)

主題

“Be the Light of Hope” 「希望の灯となろう」

スローガン

“Working Together to Serve Better”

「より良き奉仕のためにともに働こう」

西日本区理事 (RD)

佐藤典子 (熊本ジェーンズ)

主題

「思いやりを持ってワイズライフを！」

“Enjoy Y's life with Consideration!”

—わかち合いは微笑をもって—

—Share with a smile—

京都部部长

藤田寿男 (京都ウイング)

主題

「意識を持って活動に参画しよう！」

—555実現に向けて—



ニコニコ

2月第一例会 10,000円  
2月第二例会 0円  
計 54,000円



ファンด์  
じゃがいも 320,095円  
すいか 24,200円  
その他 5,128円  
累計 349,423円



BFポイント

切手 0p  
現金 0p  
累計 0p



2月第一例会 21名  
2月第二例会 13名  
メーキャップ 1名  
在籍者数 23名  
出席率 87%

We are family

We are family

We are family

We are family

「なぜ?……楽しいから」

廣井武司

真剣だと知恵が出る  
中途半端だと愚痴が出る  
いい加減だと言いつけばかり

ある人の言葉より



最近よく仕事の関係の人や周囲の人たちからこんな問いかけがあります。「こんな不景気なのに」とか「こんな大変な時によく奉仕クラブで働いていますね」など「何故」という問いかけを受けます。私は「楽しいから」と答えています。もっとも崇高な理想を述べればいいのかもしれませんが、そんな知恵もないし相手に興味を抱かせるには、何がそんなに楽しいのかという疑問を持ってもらうことが大切と思うからです。

そもそも奉仕クラブとは無理に無理を重ねてやるものでもないと思います。本業の仕事や家族の予定の多少の組み替えは必要であっても、早いうちから、その予定を組み立てておけば、意外と何とかなるものです。しかし前に述べた「何故」という疑問を持つ人にとって、奉仕クラブに在籍したり、ボランティア活動に時間を費やしたりすることは、大きな個人の犠牲の上に成り立っていると感じています。そして暇のある人がすることと考えられているようで、日本が欧米に比べてボランティア後進国と称されるところなのかもしれません。



そんな中で、先日京都で開催された第20回記念の全国車いす駅伝競走大会2009にユース21京都のYMCAのボランティアとして参加するチャンスを得て、老体に鞭を打って楽しんできました。その中で多くの若いボランティアの人たちを見て、純粋に動き回るその姿に感動を覚えました。自分の担当するチームの選手の横で笑顔で話している若者や、この車いすは何処へとウロウロ走り回る若者など、懸命に与えられた仕事をこなしている姿に頭の下がる思いでした。そして、下働き中心の活動に、また来年も参加するぞ!とその「やりがい」を感じてくれたか少し不安にもなりました。やはり「やりがい」と「楽しさ」の共存は必要と感じた一日でした。今月は「EF、JWF」の強調月間です。EFは国際信託基金で国際ワイズダム発展のため積み立てられる基金で、基金目標を\$1,500,000,000となつています。JWFは西日本区ワイズ基金として西日本区のワイズ運動の継続的奉仕活動を支える基金となっています。あなたの記念日に献金されることも、ワイズの力となります。考えてみてはいかがですか?

## 2月第一例会

磯谷康夫



2009/2  
/4 午後7時  
廣井会長の開会  
点鐘の下例会が  
始まる。

今回の参加者は27名。その中で2名の入会者、保ワイズ・西川ワイズとそのメンバー。また藤田寿男京都部部長・山田隆之京都部地域奉仕事業主査・森田美都子京都部交流事業主査・西村・渡邊・森メネット・メンバー候補ゲスト松村さんの参加を頂き例会が始まる。

まずは会長挨拶。今年の漢字予想のお話。その漢字とは今の世相を現したかのような10個の漢字である。乱 忍 苦 耐 暗 迷 変 落 貧 明 と。

1から9まではなんとネガティブな漢字であるうか。年初からこんなんで先が思いやられる。しかし、解釈の仕方によっては最後には明るくなるのかなと個人的に言い聞かせ納得。会長も、心を積極的に明るく顔をして一年の変化を楽しみたい。とおっしゃった。すばらしいではないか。この余裕の無いご時勢にあえて明るい顔をする。見習うべきであると思った。

次に入会式が西村ワイズによって進められた。本来なら3名の新会員ではあるが荒木さんが仕事の為欠席され、保ワイズ・西川ワイズの3名の入会式となった。

保ワイズ：右も左も分かりませんが仲良く！西川ワイズ：感激しています。よろしく！と期待の言葉を頂いた。



その後、各委員会からの報告。京都部部長公式訪問。



京都部の目指すものとして京都YMCAとの相互信頼関係をより強固にし、西日本区や国際の動向をタイムリーに伝える。クラブ間の連携を密にしYサや地域奉仕・交流活動充実や拡大。リーダーや留学生との交流を通して青少年育成へのアプローチを目指す。しかし現状の会員数は減少している。そこでアクションプラン555と銘打ち現状を如何に打破するか。その為には何が出来るか？何をすべきか。実際に西日本区との取り組みとして例会の充実とワイズ理解の推進・国際事業への取り組み等行っている。クラブ内では常に今のままで良いのか？最終的に何人を目指すのか？増えたときの対策が出来ているのか？など議論されている。

今期の京都部部長主題：意識を持って活動に参画しよう。その意識とはワイズメントとしての意識。京都YMCAのミッションを社会に発信し、自ら実践する。

Plan Do Check Action 意識の共有化。すなわちそれがクラブの目標。その為の親睦。親睦を図り、御互い研鑽しその中で異業種とも交流することによりメンバーも増えることによりメンバースタッフも増える。これによりクラブが活性化される。このスパイラルが動くことによりYMCAと共に発展していくことを願う。

## 2月第二例会

北野功治



2月第二例会は、討論に向いているからか、機の配置がいつもの円卓数卓でなく、長机がコの字状で新鮮な感じがしました。廣井会長の挨拶は、沖繩に行つてこられた際に、気が付かれたことについて、沖繩では家族のつながりがたいへん大事にされており、われわれも家族を大事にしていきたいとお話でした。今回の食事は中華料理でしたが、いつもの円卓でないのが各自に取り分けられた料理が次々に運ばれてきて、これも新鮮でした。

メインは、25周年夢実現委員会の森委員長を座長として、「地球温暖化問題への取り組み」と題して、討論が行なわれました。独断と偏見で話の流れについて大まかに書いてみます。

はじめにプリンスクラブとして地球温暖化に取り組むべきかが問われ、やはり取り組んでいくべきとの方向になりました。次に自分の問題としてどうとらえているかについて話すことになり、取り組める範囲で個人として努力をしている具体例などが出ました。そして、クラブとしてどのように取り組めばよいかについては、YMCAを通じての環境への取り組みとして、廣井会長より「サバエキヤンプに植樹を進めて、鬱蒼としたプリンスの森を作つては」という意見があり、多くのメンバーからの支持を得ました。続いて、環境問題への取り組みとして始まった使用済み割り箸回収事業について、直前メネット会長のご意見やCS委員会よりの現状と問題点などの資料も参考に、議長提案をたたき台に話し合いが進められ、お店に回収依頼するのは各個人が独自で回収できる範囲のみにとどめる方向で、CS委員会より再度方針案を出してクラブとしての決定をすることになりました。半期総会では時間が足りず十分な討論が行なえなかったが、今回予定時間を大幅に超過してまでじっくりと討論する中で方向性が定まり、13名と人数は少なかつたですが充実した内容の例会となりました。

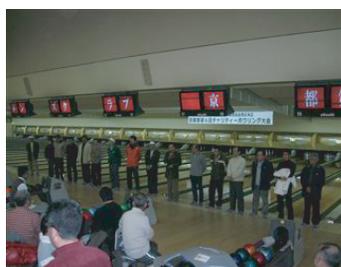
# CSチャリティーボーリング

式部左近

2月8日しょうざんボウルにおいて京都部第六回CSチャリティーボウリング大会が開催されました。プリンスクラブからの参加者は、西堀委員長、廣井会長、金丸次期会長、小泉副会長、西村直前会長、岡西ワイス、北野ワイス、西村メネット、金丸メネット、廣井コネット、メンバ候補の福嶋様そして私式部の計12名の参加で、内10名が、ゲームに参加しました。開会式が始まりました。京都部藤田部長の挨拶に続き、スポンサークラブ、京都クラブ金澤会長挨拶の後、競技について石川CS委員長の説明があり、解散して各自練習投球に入り、藤田部長の始球式で競技が、スタートしました。プリンスクラブでは、廣井会長の一投目ストライクから始まりまし



各クラブ代表3名の2ゲームトータルの合計点で競います。我がクラブの代表は、廣井会長、西村メネット、私式部の3名で、挑戦しました。ゲーム中ストライクや、スパーが、出ると拍手や、ハイトッチで、選手を迎え、和気藹々とゲームが進行しあつという間にゲームが終了し、引き続きアトラクションゲームに入りまし。各クラブの代表1名が、参加するアトラクションゲームは、1フレイズ2球投じて3ピン残すゲームです。このゲームの得点が増算または、減点され順位が変わります。我がクラブから廣井会長が参加され、1投目1本、2投目8本倒して、残念ながら加点も減点もなく結果は、8位でした。個人戦では、西村メネットが、8位当日賞、北野ワイスが、129位で、飛賞に入り賞品をゲット、ラッキーでした。表彰式も終わり解散。楽しいひと時を過ごせました。



参加チーム：54チームで216名。サポーターを含めると約240-250名

ワイス以外の参加者の中には各クラブが支援している平安徳義会 和敬学園 つばさ園 大井松花苑 遥学園の5施設から子供達が参加京都部から本大会の収益金と試合中に実施された献金合計金十七万円京都YMCAの加藤連絡主事に対し、Yの活動資金として藤田部長より寄付されました。

試合は個人戦2ゲームと団体戦1ゲームの計3ゲーム

入賞者 130位 北野ワイス

当日賞 西村メネット

スコア(ネット)

北野	211	岡西	279	廣井	293	西村(寛)	337
小泉	274	西村(博)	238	金丸	185	金丸(美)	243
式部	253	福島	266				

(報告者：西堀和之)

# 京都YMCA創立120周年記念会

岡西 博司



「京都YMCA125年を語ろう」というタイトルの元、120周年記念会員集會がもたれました。特に今回は、きちつとした礼拝を持ちたいということ、聖アグネス教会で荘厳な礼拝を持ちました。聖アグネス教会は、平安女学院にある教会で、重要文化財に指定されています。約50名ほどの参加者でしたが、門脇光禪司祭の奨励を聞き、共に賛美歌を歌い賑やかな気持ちで礼拝を持ちました。最後のお祈りの言葉が特に印象に残りました。「変えることの出来るものは変え、変える事の出来ないものは受け入れる。」  
「何が変えられるか、変えられないかを判断できる心を身につけましょう。」こんな意味の言葉でしたが、何かオバマ大統領のCHANGEを思い起こさせ、二部の語り合いに向けて、良い刺激になりました。

二部では、「五年後の京都YMCA」はどうなっていて欲しいか、という願いの元、六つのグループに別れ、それぞれ討論をしました。

「京都YMCA PLAN125」を会員みんなんで考え、実行してゆこうという思いで、何を変えて、何を受け入れてゆくのか。お互い異なる意見が出てきて、本当に有意義な時間を持つたと思います。

最後に各グループからの報告があり、お聞きになりました。

金丸副会長が礼拝だけですが出席して頂き、良かったと思います。

# 「Y M C A ボランティアリーダーを育てること」



千葉 Y M C A  
主任 赤澤 晃

青少年時代の多感期に、人のために尽くしたり、社会貢献したりすること、ボランティアなど他者の役に立つことなどの活動領域の中で、何か1つのことに打ち込むことは、その人にとってのそれからの人生において、どこかで必ずプラスになると思います。そのプラスが大きい小さいかまたは役に立つかどうかは別にして、その人にとって充実した生活を送る一つの礎になることは間違いのないと思います。

そのような活動が、即時的、即物的に役立つかどうか、言い換えれば速効的対費用効果はどうかと言った視点で見ると、答えは「?」でしょう。人が育ち、人が成長するのは、時間がかかったり、効果や結果が顕著に現出しないことも多々あるものと思いませんか。成長や改善が顕在化しないからと言ってそれで役に立たないとは言えず、計数的な尺度で決して測れないのが人の成長です。学校の成績や業務上の指標のように、やむを得ず行う便宜的定量測定でできないような部分が、人間にとっては大きな成長の部分です。

ひるがえって、自分の卒業後の四半世紀を想うなら、リーダーをやっているところが成長したの、どこが貢献できているのと問われたら、うーんとうならざるをえないものです。私を知っている人には余計にそう思えるかもしれませんが。ただ確実に言えるのはその時にできた人の輪、今風に言うとネットワークは、その後自分を作る上で大きく関わっていることは事実だと思えます。また、若き日の多くの体験活動を通して得たものや培ったノウハウ、同じ釜の飯を食った仲間、この年齢になるまで自分を支えてきた宝物の一つ、パワワーの源であることも間違いありません。人の成長は、気づき、変わり、固まる、解凍、気づき、・・・と言う繰り返しの螺旋階段を登るように、上っていくものだと考えられます。そうか、こうしよう、こうなるうと思っているうちにそれが習慣化し、自分のものとなって当たり前になるものと、今度それから抜けられないようになってしまつてまたそうかと思つてよし今度はこうしようと思つてよし、うと気づく・・・これが人の成長のスパイラル曲線の軌跡です。



から抜けられないようになってしまつてまたそうかと思つてよし今度はこうしようと思つてよし、うと気づく・・・これが人の成長のスパイラル曲線の軌跡です。

Y M C A のリーダー活動はその軌跡の上を歩ませようとする活動です。それは多種多様な人と出会いがあり、いろいろな価値を持つプログラムがあつて、核心を見失わず導き続けられるスタッフがいるこそ成り立つものです。

人を育てると言うことは、際限のない且つ見返りを期待しない投資です。Y M C A のボランティアに集ってくる学生は意識も高く、十分な資質を備えたものが多くいます。この者達に対し、「若き日に汝の造り主を覚えよ」と道を示していくことが Y M C A のリーダー養成のコアファクターであつて、決して子供を担当するノウハウを身につけさせることやスキーの技術を覚えさせることではありません。豊かな人格を涵養し、Y M C A キヤラクターデイベロップメントに示された想いを実証していく存在として大きく育てて行くために、これからも多くの会員の英知と財が結集されることを祈ります。

Y M C A のリーダーを育てることはそれを通して未来の社会を作っていくこととする営みそのものです。間違いのない、ゆるぎのない導きと、多くの方々の想い、願い、祈りに支えられて育つていきま。是非、ご賛同いただき、ご支援賜りますようお願い申し上げます。祈平安

## 第20回車椅子駅伝

小野敏明



20回目の記念大会。昨年に引き続きスタッフとして参加させて頂いた。チーム数30チーム、選手数182名。中には、昨年9月に開催された北京パラリンピック夏季競技大会の代表選手の姿も。

我々プリンスクラブのサポーターは、主に選手たちの介助。バスの乗降やトイレ、競技を終えた選手たちの誘導など。下半身は不自由だが、鍛えられた上半身は人並み以上の選手たち。その介助は体力及びチームワークが不可欠。選手一人に2人以上の介助人が必要なる場合も。

開催にあたっては多くの関係団体が協力している。しかし、これら介助を担うスタッフの多くが京都のワイズメンたち。そのボランティア精神に感服。しかし、気になったのが高年齢化。なんとか、若い世代が台頭しないと・・・。「全国高校駅伝」、「全国都道府県対抗女子駅伝」に並ぶ京都発祥のスポーツイベント。このようなイベントの開催地に選ばれるのは、やはり京都の高いホスピタリティ。その一端を、ワイズメンの活動を通じて担える事に感謝。

選手並びに関係者の皆様、お疲れさまでした。また、介助させて頂いた3区の選手の皆様、心地よい緊張感がありました。また来年、京都で会いましょう。



# 京都YMCAからのお知らせ

京都YMCA三条本館のロビー、平日の午後の時間帯はたくさん子ども達とお母さんと活気あふれていて、時には喧騒としていて、他の会員の方や事業にご迷惑をおかけしているほどです。元気いっぱい、楽しく仲間や家族と語り、遊びに夢中になっています。

「公共の場所」であることのマナーを学ぶ場所であることを伝えたいといいますが、一方で、子どもたちが屈託なく楽しそうにしている姿を見るにつけ、YMCAが安心できる場所であることを再認識する時があります。元気な声と笑顔に勇気付けられます。

さて、そのロビーには毎日多くの方が訪れます。早朝よりスイミングの会員、朝には専門学校の生徒、午後にはスイミングスクールの子どもの達、勿論それぞれの先生やスタッフ。お昼休みにはロビーで昼食を取る生徒と賑わいます。野外活動を始めた学生ボランティアリーダーも学業の合間(?)をぬって頻りに事務所に訪れます。視覚障がいの方々のサポートを目的としたボランティアグループ、スペシャルオリンピックスなどの社会人ボランティアの方々も曜日や時間帯を変えてお越しになられます。

夜の時間帯は成人スイミング会員の方々、英会話、社会福祉学科の学生。そしてワイズメンズクラブ、各種委員会、リーダー会やトレーニングと集まっています。

時には、トイレだけを探して来られる方、ホテルを探している外国人観光客。まさにスモールコミュニティです。性別や年齢、生まれた国や言葉、障がいや疾病の有無をこえて、安心して寄り添って生きることの出来る社会の創出をめざして、YMCAは「人間」と「空間」「時間」づくりをしています。

今春も多くの事業、プログラムが予定されています。ご参加ならびにお支えをお願いいたします。

## 1. 2008年度卒業生リーダー祝会のお知らせ

今年も多くの少年リーダーが社会に巣立とうとしております。YMCAでの活動に捧げていただいた労力と時間は、明日をつくる子供たちの大きな糧となったに違いありません。情熱ある働きに感謝するとともに、YMCAでの経験が今後に活かされることを祈るとともに祝いたいと思います。

とき 3月8日(日) 午後2時~5時30分  
(受付午後1時30分開始)

会場 京都YMCA 三条本館 マナホール

## 2. 新年度プログラム募集

子供たちのウエルネスプログラムの新年度参加者募集中です。ご参加をお待ちしております。

スイミングスクール・体育活動 お申し込み・お問い合わせ  
電話075-255-4708

グローバルアウトドアクラブ お申し込み・お問い合わせ  
電話075-231-4388

## 3. 京都YMCA発達障害児理解セミナー

市民の方々が理解を深め、軽度発達障害児が健やかに成長できる社会作りには貢献できればと願ってセミナーを開催いたします。幅広い方々のご参加をお待ちしております。

日時: 3月14日(土) 午後1時20分~午後4時30分

場所: こどもみらい館(中京区間之町通竹屋町下ル)

講師・講演

I. 「高機能広汎性発達障害の青年・成人が抱える精神医学的問題」

講師 岡田 俊 (京都大学医学部附属病院 講師・児童精神科医)

II. 「大学、高校における発達障害者への就学支援」

講師 小谷裕実(皇學館大学社会福祉学部教授、小児科医)

参加費:1500円

## 4. リトリートセンター・サバエキャンプ場夏期利用案内

自然いっぱい心音が安らぐリトリートセンター・サバエキャンプ場では夏期(7・8月)の受付を下記日程で行います。ご利用ください。

夏期(7・8月)利用受付開始 30名以上 3月11日(水) 午前10時~  
30名未満 3月13日(金) 午前10:30

リトリートセンター2008年4月~2009年3月まで(7・8月を除く)のご利用は只今受付中です。

## 5. ボランティアセミナーのご案内

①「共に支え共に生きる」-一生と死を考える- 沼野尚美さんからのメッセージ

2人に1人が「癌になる時代」。まさかのことが我が身に起こったとき、心の支えになるものはなんでしょうか。ホスピスの患者さん方は【家族】と答えられます。人生を豊かにするものと危機状況と直面したとき、自分の人生を複雑にさせるものが、皮肉にも同じもの。それは人間です。長年のホスピスでの働きから、家族の絆について、人と人との関わりについてお話しさせていただきます。

講師 沼野尚美さん 病院薬剤師から、病院チャプレンやカウンセラーに転職、現在六甲病院緩和ケア病棟勤務チャプレンとカウンセラーを兼職。

日時 4月11日(土) 午後8時30分~8時30分

場所 京都YMCA (三条柳馬場)

参加費 1人 300円

②がん患者さんとそのご家族へ 第26回 苦しみ、悩み、不安を共有しませんか。

この会は患者さんとそのご家族が抱えている苦しみや悩みについて、患者さん同士、そのご家族同士が話し合い、がんとうまく付き合うための情報交換の場です。

日時 3月21日(土) 午後7時~9時

場所 京都YMCA(三条柳馬場)

参加費 お一人 300円(お茶代等)

## 3月の予定

4日(水) 第一例会(通常例会) 19:00~21:00

グランドプリンスホテル京都

18日(水) 第二例会(通常例会) 19:00~21:00

グランドプリンスホテル京都

19日(木) 三役会 廣井会長宅

25日(水) 役員会 廣井会長宅

## 4月の予定

1日(水) 第一例会(ウエルクラブ訪問例会)

19:00~21:00 平安会館

15日(水) 第二例会(通常例会) 19:00~21:00

グランドプリンスホテル京都

19日(日) リトセン夜桜フェスタ

24日(金) 三役会 廣井会長宅

30日(木) 役員会 京都YMCA

## 役員会報告

### 第一号議案

割り箸回収の件

環境委員会より提出

事業予算、実施要綱について

承認

## ハッピーアニバーサリー



16日 渡邊公生君・純子メネット

21日 岡西博司君・知子メネット

21日 三木貴夫君・洋子メネット

30日 利川彰男君・千恵メネット

## ハッピーバースデー



1日 磯谷美亜コメット

2日 渡邊純子メネット

7日 西堀和之君

9日 西村博君

9日 三木洋子メネット

11日 式部桂子メネット

13日 古川圭子メネット

14日 毛利友紀野コメット/小泉 聡コメット

16日 三村良行君/金丸慎也コメット

三木沙耶香コメット

19日 西村寛子メネット

21日 三木穂高コメット

24日 永濱 翔コメット

28日 磯谷秩子メネット